

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和5年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：逆問題的発想にもとづく新規コイル設計理論を応用した経頭蓋磁気刺激用コイルの研究開発
2. 研究開発代表者氏名(所属)：関野 正樹(東京大学)

【評価(公開)】

うつ病の治療を目的とした脳深部磁気刺激を可能にする経頭蓋磁気刺激用コイルの研究開発を行い、シミュレーションにてコイル開発が可能であることを確認し、プロトタイプを製作し性能を確認した。またこの間、動物実験にて磁気刺激の刺激範囲の評価方法を開発した。PMDA相談を行い、臨床試験にむけた準備が進められている。また、装置メーカーとの協業についても検討が進められていること等が評価された。

以上